

水引中校区まちづくり懇話会 進捗状況一覧

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H18年度末）	進捗状況（H19年度末）	進捗状況（H20年度末）	進捗状況（H21年度末）	進捗状況（H22年度末）	地区振興計画	H19当初予算	H20当初予算	H21当初予算	H22当初予算	H23当初予算	事業完結		
H18	1	川底	市道川底乙須線は大雨が降ると水が流れ危ない。後下橋と接続の道がS字型で危険。側溝の設置とカーブカット等危険箇所を整備を。	建設維持課	この要望箇所については、危険性及び緊急性を考慮しながら予算の範囲内で実施していきます	危険性及び緊急性を考慮しながら検討します	一部側溝の設置を実施した。今後も、危険性及び緊急性を考慮しながら検討します。	一部側溝の設置を実施した。今後も、危険性及び緊急性を考慮しながら検討します。	平成21年度も側溝の設置を実施し、要望区画の整備は完了した。後下橋付近のS字カーブについては平成22年度で整備を予定している。（H20議題1と同じ）								○		
H18	1	川底	後下橋は形状が危険で冬になれば特に滑る。下の部分を継ぎ足して三角にする等対策を講じてほしい。	建設維持課	橋の拡幅には経費もかかる。橋の近くの農地を相談すれば、線形改善できるのではと思うが、私有地なのですぐには無理。出来ることから改善したい	市道川底乙須線の全区間で、危険性及び緊急性を考慮しながら検討します	危険性及び緊急性を考慮しながら検討します。	危険性及び緊急性を考慮しながら検討します。	危険性及び緊急性を考慮しながら検討します。	危険性及び緊急性を考慮しながら検討します。									
H18	2	草道	市道草道椎原線は見通しの悪いカーブが多い。通学路であるので、視距改良についての要望書を提出したが、進捗状況を伺いたい。	建設維持課	現地を調査し平成17年度に測量設計を行った。本年度中に視距改良工事を計画しており、自治会長と話をした。一部用地を購入する必要がある	用地交渉が難航しており、道路線形の再検討をしております	用地交渉が難航しており、道路線形の再検討をしております	用地交渉が難航しており、道路線形の再検討をしております。	用地交渉が難航しており、道路線形の再検討をしております。	用地交渉が難航しており、道路線形の再検討をしております。									
H18	3	草道	水引中央団地の住環境の整備と湯島町農業振興地域の衛生的観点から合併浄化槽の設置を	建築住宅課	平成17年度に市営住宅ストック総合活用計画を策定し方針を定めた。草道下住宅は個別改善（トイレ水洗化）の判定を行った。実施年度は、今後検討	平成19年度ストック総合改善事業にて計画	平成19年度事業として、トイレ水洗化工事と併せて合併浄化槽を設置した。（事業完結）					○						○	
H18	3	草道	原田川は今はいきいではない。きれいな水でなければおいしいお米はできない。将来に農業経営を繋ぐため浄化槽の設置を	建築住宅課	平成19～20年度には浄化槽を設置したい。64ヘクタールのほ別整備が有効活用できるように前向きに取り組む	草道下住宅については、平成19年度ストック総合改善事業にて計画	平成19年度事業として、トイレ水洗化工事と併せて合併浄化槽を設置した。（事業完結）					○						○	
H18	4	浜田	大泊線～湯原線が途中狭くなっており、すれ違い時危険である。一部は農道になっているので、市道に変更後、危険箇所については拡幅を要望したい	耕地課	農道のまま維持管理する。排水路に蓋を設置した農道の箇所が少し狭く、土地所有者等を調査し協力を得て、蓋を設置する方向で検討する	平成19年度で実施予定	平成19年度末現在、未実施。平成20年度に実施中。	平成20年度実施済。	平成20年度実施済。			○						○	
建設維持課				地元の皆様と協議の上、部分的に拡幅し、組合箇所を確保したい。また視距改良箇所は、他の地域との調整を計りながら検討する	危険性及び緊急性を考慮しながらH19に検討します	危険性及び緊急性を考慮しながら検討します。近隣での工事に伴う残土がある場合は、対応をしたい。	現段階では、農道として管理することが適当ではないかと考えている。（H20議題6と同じ）												○
H18	5	浜田	浜田集会所は一階和室会議室が狭く、消防車庫が使われていない。有効利用するため消防車庫部分を改装し、会議室を広くしてほしい	コミュニティ課	電源立地促進対策交付金制度による国の補助を受け建設・整備したものであり、法律上の規制や手続きが必要。改修が可能であるかの検討と調整を図る	平成19年1月に、九州経済産業局に対して電源立地促進対策交付金事業財産処分承認申請を行ない、平成19年2月に、消防車庫改修の承認を得た。平成19年度に会議室への改修工事を行う予定である	平成20年3月18日工事完成し、同月24日に引渡し完了。					○						○	
H18	6	湯島	川内港の荷役岸壁はテロ対策で金網が設置され釣りの出入は許可されない。金網開放の要望書を提出済みである。本件の後押しを	企業・振興課	これまで利便性の良い釣り場であったが、法律に基づくものであり、人命の安全対策とコンテナ貨物も24時間の監視体制も必要である	川内港京泊ふ頭の金網については、港湾管理者である県が、人命及び貨物の安全対策から国際条約で定められたソーラス条約により設置しているため、開放についてはご理解いただかない。なお、平成16年12月に川内土木事務所に提出された要望書の回答については、平成17年3月頃、要望された代表者に土木事務所長が条約に基づくものでありご理解いただきたい旨を口頭で回答されたと聞いている	—											○	
H18	6	湯島	現場を見たが、1日200本もコンテナが入り難しいかと思う。釣りのために桟橋を作ってほしい	観光課	将来は可能では。桟橋は台風のと看壊れる。入り江のような地形があるといいが、唐浜はどうだろうか。観光や釣りの増加を考えると検討課題	回答の通り。導流堤もあり、また西方の三十番等入江も多く、釣りの穴場は多い。新たに釣り桟橋を造るとなると、川内港は外海に向いており、台風時等決壊の危険性が高く管理上大変である。	H18年度末に同じ	H19年度末に同じ	H20年度末に同じ	平21年度に同じ									
H18	7	湯島	湯島町～水引小学校通学路の街灯が少なく、夜道が暗い。部活帰りの児童、生徒の安全が確保できない恐れがあるので、防犯上の観点から街灯の増設を強く要望したい	コミュニティ課	自治会や地区コミュニティ協議会等を対象に防犯灯の設置費補助金制度を設けている。申請すれば、予算の範囲内で補助金を交付する	平成18年度に湯島町公民館より、要望箇所付近に1箇所水銀灯設置の交付申請があり、補助金交付を行う。今後も申請頂ければ予算の範囲内で補助金を交付していきたい。	防犯灯は自治会等の協力により設置して頂いている。今後も申請頂ければ、市の予算の範囲内で対応していきたい。	防犯灯は自治会等の協力により設置して頂いている。今後も申請頂ければ、市の予算の範囲内で対応していきたい。	平成22年度から通学路への防犯灯を設置していく。	今年度から通学路の防犯灯設置を実施しているところである。		○	○	○				○	
学校教育課				警察等の関係機関・地域の関係団体と学校・家庭が一体となった防犯活動をさらに進め、地域全体で児童生徒の安全を見守っていく体制づくりに努める	各学校は、スクールガードを組織し、児童生徒の安全確保に努めている。学校も部活動終了後はなるべく1人で帰らないように指導している。	各学校は、前年度に引き続きスクールガードを組織し、児童生徒の安全確保に努めている。学校も部活動終了後はなるべく1人で帰らないように指導している。													
H18	8	湯島	原田川は水草繁茂で河川と言うより溝川である。用水として使いにくく、魚礁としての自然環境もない。毎年の浚渫作業を要望する	建設政策課	防災的に危険性の高い箇所から優先的に奇洲除去や伐採作業を実施しているとのこと。年次的な浚渫や伐採を県に要望していく	早速、川内土木事務所と現地調査を行なった。川積を阻害している箇所は、奇洲除去等実施するとの回答であった	左に同じであるが、平成18年11月には、川内土木事務所に対し、防災的な観点から原田川・網津川・草道川の奇洲除去等の予算確保について要望を行なったところである。	H21年度に奇洲除去予定	H21年度に奇洲除去									○	
H18	9	網津	網津踏切及び踏切から3号線に渡る道路の土地所有者との土地買収協議の進行具合と、拡幅工事実現の見込み、その時期もきめ回答を	建設整備課	網津踏切は本城踏切の整備後だが、踏切の拡幅改良には鉄道事業者や接続する道路管理者との協議に時間を要し、多額の経費がかかり整備が進まない現状	H18～H20で本城踏切の整備を計画。網津踏切は、その後の整備を予定	平成19年度・20年度で御隣下町の本城踏切を整備中次期整備予定箇所は、網津踏切となっているが、オレンジ鉄道の動向と検討する必要もある。また、費用が多額なため市の財政状況も厳しく、21年度着工は、厳しい状況にある。	同左	・未着手	・未着手									
H18	10	水引地区	水引小学校下の踏切近くに歩道橋ができ歩行者の安全は確保されたが、3号線交差点近くの踏切は依然狭く、大変危険なため拡幅を	建設整備課	歩道橋を整備し、ふると農道の利用者が増え、列車の本数が減り速度も遅くなった。不自由だが拡幅改良が必要な踏切は多く、当面拡幅する考えはない	踏切改良の要望は多く財政的にも厳しい中、改良を実施している状況であり、当面、本踏切を改良する考えはない	H18年度末に同じ	同左	・未着手	・未着手									
H18	10	水引地区	信号の時差的なものにより車両の交差が危ない。また、電柱が信号の邪魔になっている	建設整備課	信号は公安委員会の管轄。該当の信号は感応式になっているが、川内警察署の交通課を通しあげたい。信号の見にくさについても交通課を通したい	引き続き協議を続ける	H18年度末に同じ	同左	・未着手	・未着手									
H18	その他	—	導流堤が大変痛んでいる。改良する予定はないか	建設政策課	調べる必要があるが、河川サイドで作ったもの。調査した上で所管に伝えたい	天端がブロック毎に凹凸がある。所管へ検討されるよう繋いでいる	導流堤の機能に支障はなく、改良の予定はない。	回答のとおり（今後維持管理計画を策定予定）	回答のとおり	回答のとおり									
H18	その他	—	海水浴場の看板が国道の2メートル手前に設置してある。高さが軽トラ、自動車が見えにくい	観光課	看板については改善したい	実施済	—												○

水引中校区まちづくり懇話会 進捗状況一覧

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H18年度末）	進捗状況（H19年度末）	進捗状況（H20年度末）	進捗状況（H21年度末）	進捗状況（H22年度末）	地区振興計画	H19当初予算	H20当初予算	H21当初予算	H22当初予算	H23当初予算	事業完了 結果			
H18	その他	—	国際交流センターでの自治会長研修会で冊子をもらったが、去年頂いたので変更がない場合は前年の冊子を使うようにすれば良いのでは	コミュニティ課	自治会の冊子については去年の冊子で使えるようであれば使うように職員に徹底したい		毎年、手引きの内容に変更がないか、掲載担当課に確認している。すべての課において、変更がなければ、そのまま使用していただくように通知します。平成19年度版手引きについては、組織の見直しに伴う問合せ先等の変更がありますので、配付したいと思います。					○					○			
H18	その他	—	構造改善事業は1番最初に実施していたのだが、底が4センチしかない。最低でも30～40センチないといけないのではないか	耕地課	構造改善事業については施工のやり方が問題だったのではないかと、耕地課に調査をさせた		平成19年度早期に調査し、工法を検討したい。小規模であれば即対応したい	土地改良区地区理事に確認した結果、ほ場整備後の表土厚が少ない箇所があるとの。平成19年度は詳細調査未実施。平成20年度に調査・検討等行いたい。				○								
H18	その他	—	保健センターの看板が小さくて見づらい	市民健康課	県道川内串木野線になるので県土木、警察と協議して案内板を協議したい。立て看板の設置等、見やすい表示を検討したい		保健センターの案内については、ホームページへの案内を掲載するとともに、すこやかふれあいプラザでの行事をされる場合には、案内図を添付してもらうよう各課にもお願いしている。また、建物看板が分かりづらいとの声もあったため、北側玄関に看板を設置した											○		
H20	1	川底	市道川底・乙須線は大雨が降ると水が路面を流れ危ない。又、曲がり角や後下橋と接続の所がS字型で危険、それと国道3号線との取付の所は幅が狭く、自動車等の出入りに不便であり、重大事故が起きないか心配である。引続き側溝の設置とカーブカット等の危険箇所の整備と国道からの入口の所の拡幅を要望したい。	建設維持課	側溝は、昨年に引き続き、整備する計画である。また、後下橋を挟むS字型の道路線形については、橋を渡ったところにガードレールを整備し、運転手がガードレールを確認出来るように反射板等を付け安全確保を図りたいと考えている。 なお、カーブカット及び国道からの入口の拡幅については、危険性及び緊急性等を考慮しながら検討する。			一部の区間で側溝整備を実施した。3号線取付部の拡幅については、排水路等の構造的な検討が必要である。										拡幅工事を実施し、安全面からも道路、河川にガードレールを設置した。		
H20	2	草道	平成20年1月草道下自治会・草道中自治会・草道公民館三者の国土交通省への「国道3号線歩道拡幅工事」要望書に市長の進達文を添えて提出した件につき、その後の業務の進捗状況について	建設政策課	1月28日に薩摩川内市長名で阿久根維持出張所を通じて、鹿児島国道事務所に要望書を提出している。今年度、国道3号線の整備予定については、交通安全対策として、水引町薩摩病院付近での歩道設置工事及びバス停改良工事を予定されているところである。要望の水引小学校周辺の歩道拡幅については、事業化に向けて検討中ということである。将来的には、南九州西回り自動車道のインターチェンジが近接して設置され、交通量の増加も見込まれることから、今後も、住民の安心・安全の確保という観点から、早期実現に向けて要望していきたい。			平成21年度から事業着手予定（用地調査から			H21.6に整備概要及び今後の進め方について地元説明会を開催し、用地測量、建物調査を実施。								用地取得中	
H20	3	草道	水引小学校前の国道3号線に架かる歩道橋側面に所在案内文の記載を。 （例）ここは薩摩川内市水引町 水引小学校前	建設維持課	平成15年に整備をされた、この歩道橋の高さは、国道と併走して肥薩おれんじ鉄道があることから、通常よりも高い位置に架設されている。所在案内文の記載については、国道事務所と協議する必要がある。また、記載箇所の位置が路面から高いため、車両通行に際し、視野上の安全が確認されるか、ということもあるので、警察にも相談しなければならぬ。検討材料とさせていただきます。			現地調査を実施した。今後、関係機関と調整を図りながら検討を行う。											通常の歩道橋ではなく、鉄道を越える歩道橋である為歩道橋側面の視点が高く、運転に支障があると思われる。また、施工について、国道3号線の交通量の多さから仮設が困難であり難しい。	
H20	4	草道	南九州西回り自動車道の水引地区内に計画されているインターチェンジの名称に是非、水引地区名が付くよう希望します。 （例）薩摩川内水引インター	建設政策課	現在仮称川内インターチェンジとなっているが、供用開始が近付いた時点で正式名称について、事業主体である国土交通省から県を通じて市に意見照会がなされ、考慮していただく決定していく。したがって、現時点では、供用開始の時期等は未定であるため、インターチェンジの正式名称の決定時期についても未定である。供用の2～3年くらい前に国の方から県を通じ正式に話があると考えているので、そのときに対応していく。			地元からの名称変更の要望書提出をお願いしている。 （草道公民館長に依頼中）										H21.6に鹿児島国道事務所長に仮称川内ICの名称変更に関する要望を提出した。	回答のとおり	
H20	5	浜田	大迫～湯原線の月屋地区、田中高明氏宅前の急カーブ箇所の改良要請については、すでに14年前にお願いした事項である。今度は是非実現して頂くよう、地権者の承諾もそえて要望する。	建設維持課	この件に関しては、財政上の問題等で未着手である。今回ご要望の急カーブ箇所の改良については、他地域・継続地区との調整や危険性及び緊急性を考慮し、実施について検討したい。			急カーブを含め道路の見通しをよくするため、伐採を実施した。改良については、今後の財政状況等を踏まえて検討したい。											見通しを良くする為木の伐採を実施した。	
H20	6	浜田	大迫～湯原線の渡瀬橋～湯原線市道までの現農道を市道へ復元を要請する。この件については、基盤整備終了後に復元の条件であった。2年前にも要請しているが、実現されないままなので、是非復元していただきたい。	建設維持課 耕地課	この区間の道路は、ほ場整備事業によって拡幅、舗装をされた。また、道路沿いに農地が張り付いており、道路を利用する人も農作業のために通行する車などであることから、現段階では、農道として管理することが適当ではないかと考えている。 要望の箇所は、南野下3号線という農道であり、狭い箇所の改修の要望については完成しており、市の耕地課で維持補修、あるいは皆様の協力を得ながら伐採等については、進めていきたい。市道に遜色のない維持管理を農道としてしていきたいと考えているので、ご理解願いたい。			回答概要のとおり。											当該路線は、県営ほ場整備事業で整備された道路であり、現在も道路沿いに農地が張り付いており、現段階では、農道として管理することが望ましいと考える。	20年度で実施した。
H20	7	浜田	県道港線より湯原市道への入口（旧県道より港線への入口）箇所の路肩部分が、通行上非常に危険であるので、2ヶ所にガードレールの設置を要望する。	建設維持課	この箇所は、小中学生の通学路になっていることから、児童たちの安全確保のために、今年度、ガードレールを設置する方向で考えている。														20年度で実施した。	
H20	8	湯島	原田川の堤防道路のかさ上げ舗装は昨年ようやく完成したが、ガードレールの設置がとびとびであり、非常に不安な場所があるので、児童・生徒の通学路でもあり残っているカーブの部分等について再度危険度を調査のうえガードレールを増設していただきたい。	建設維持課	調査したところ、カーブの部分において、通行に不安がある区間がある。一度に整備することは難しいことから、他地区との調整を図りながら、部分的に非常に危険箇所から年次的に整備していきたい。														要望区間についてガードレールを設置した。	

水引中校区まちづくり懇話会 進捗状況一覧

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H18年度末）	進捗状況（H19年度末）	進捗状況（H20年度末）	進捗状況（H21年度末）	進捗状況（H22年度末）	地区振興計画	H19当初予算	H20当初予算	H21当初予算	H22当初予算	H23当初予算	事業完結		
H20	9	湯島	湯之浦集会所のトイレ水洗化について。現在、汲み取り式便所であり、臭いが強く集会所としては真に不具合である。避難所でもあり外国人も利用することもあるので是非水洗化の改修をお願いしたい。又、水洗化の際は女子用（大便器）1つは洋式にしていただきたい。（現在和式であるため高齢者が大変苦労している。）	コミュニティ課	湯之浦集会所は昭和58年に火力発電所の電源交付金で建設をした建物である。水洗化については、簡易水洗方式の水洗化と洋式化を実施できるようにしたいと考えている。			平成20年度に洋式及び簡易水洗化した。										○	
H20	10	網津	網津踏切及び踏切から3号線に渡る道路の土地所有者との土地買収協議の進行具合と、拡幅工事実現の見込み、その時期も含め回答を。	建設整備課	以前から要望があり、必要性も十分承知しているが、肥薩おれんじ鉄道の踏切があり、大きな障害となっているとともに国道3号線から踏切までの距離が短く、安全対策からも非常に厳しい地形的条件もあり、国道管理者である鹿児島国道事務所との協議も必要である。現在進めている御陵下町の本城踏切の拡幅工事の進捗状況と踏切改良工事には、全額市負担で、多額の費用がかかるため、財源の確保など調整しながら実施に向けては提案させていただきたい。また、用地買収協議の進行具合については、現在のところ用地買収をするという具体的な動きをしていない。			現時点での事業化は、考えていない。おれんじ鉄道の動向を見据えたい。	・未着手	・未着手									
H22	1	川底	市道川底乙須線の拡幅整備について	建設整備課 建設維持課	この市道は国道3号と広域農道とを結ぶ道路となっており、南九州西回り自動車道(仮称)、現在整備中の川内隈之城道路の水引インターチェンジの供用が開始されると、城上や隣接地域からのアクセス道路となり交通量の増加が予想される。現水路への蓋掛けについては、現在の水路はコンクリート3面張りの現場打ちであり老朽化が著しいことから、現在の水路に蓋を設置することは難しい状況である。したがって、ボックスカルバート等への布設替えが必要だと考えているが、多額の事業費がかかると思われる。また、当該地区周辺では浸水の恐れがあるということで改善等の要望もされた経緯があり、これらのことを考慮すると水路を暗渠化することで問題がないかなどの調査検討をする必要がある。そのうえで、インターチェンジ供用後の交通状況や財政状況等を見ながら検討したい。						未着手								
H22	2	浜田	草道駅周辺の環境美化と景観について	商工振興課	要望のあったホーム周辺の環境整備については、現地調査を行い、地元自治会長や肥薩おれんじ鉄道の担当者の方等、関係者と協議を重ねてきた。その結果、景観上問題となっているホーム東側のイヌマキの生け垣については、年内に肥薩おれんじ鉄道で伐採することとなった。花壇の整備については、ボランティア団体である西方はなの会が、市の提案公募型補助金を活用し今年度から整備等を計画しているため、地元自治会との連携を図るよう要望をしていきたいと考えている。					景観上問題となっていたホーム東側の生け垣については、肥薩おれんじ鉄道で平成22年12月下旬に伐採された。今後とも、市としても肥薩おれんじ鉄道に対し、伐採などの景観整備及び環境美化の要望を引き続き行っていきたい。									○
H22				耕地課	草道川に流れ込んでいる水路は、下流側は平成20年度と平成21年度に機械を入れ浚渫が進んでいる。要望があったのはその上流側で、現場の確認もしており、地元の清掃作業に合わせ、機械を入れ浚渫を行いたいと考えている。鉄道敷地については、作業に危険が伴うので、肥薩おれんじ鉄道と調整をしながら様子を見たい。						地元の清掃作業に合わせて、機械を入れ浚渫を行いたいと考えている。鉄道敷地については、作業に危険が伴うので、肥薩おれんじ鉄道と調整をしながら今後検討したい。								
H22	3	湯島	原田川井堰の改良について	耕地課	土地改良区或いは排水機場管理者や用水ポンプ管理者など様々な関係者があるので協議を行ってほしい。水引地区の4つの河川全部についてそのような対応をする必要があるため、協議をさせていただき、地元が納得する形で解決していきたい。					水引地区の4つの河川全部について対応をする必要があるため、工法等を今後検討したい。									
H22	4	網津	網津町踏切の道路拡幅工事について	建設整備課	市内には改良が必要な踏切が8箇所あり、この中で網津踏切は最優先と位置付けている。これまで肥薩おれんじ鉄道とは話をしたが、補助事業も活用できるようなところが、補助事業を活用したとしても財源の確保が大きな課題である。現在、市街地では新幹線全線開業に向けて事業を進めており、川内駅近くの、新幹線や鹿児島本線と交差する横馬場田崎線の改良工事等を実施している。したがって網津踏切の改良については今後これらの事業進捗を考慮しながら計画を進めたい。					回答のとおり。									
H22	5	港	松枯れ被害による松くい虫対策について	林務水産課	クロマツから被害を受けにくい広葉樹に変えることについては、現地で国と県と市がそれぞれ調査を済ませたので、日程を決めて、立ち会って協議をさせていただきたいということであった。国は森を育てる区域を概ね3地区に分け、平成23年度から順次整備をしていくということであった。皆様に協力いただいている白砂青松の森づくりと共に一緒にやっつけようという回答を得たところである。						平成22年度は進捗なし。北薩森林管理署が進める平成23年度からの事業計画に則って、一緒に取り組んでいく。								○
H22	5	港	イノシシによる被害対策について	林務水産課	畑にラッキョウがない時期は約2カ月ぐらいしかないでなかなか難しいと思うが、有害駆除は鉄砲ではなく罠ということで処理をさせていただきたいと考えている。ラッキョウの収穫に合わせて、できる範囲の中で有害駆除・松枯れ対策を国と一緒に対策を進めていきたい。					平成22年度については北薩森林管理署において国有林内の松くい虫駆除事業を実施中であり、罠を設置すると作業時に危険が伴うため、設置できなかった。北薩森林管理署には許可は得ているので、松くい虫駆除事業が終了後、罠の設置を行う。									○

水引中校区まちづくり懇話会 進捗状況一覧

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H18年度末）	進捗状況（H19年度末）	進捗状況（H20年度末）	進捗状況（H21年度末）	進捗状況（H22年度末）	地区振興計画	H19当初予算	H20当初予算	H21当初予算	H22当初予算	H23当初予算	事業完結	
H22	その他	港	原子力発電所の工事も近々始まると思うが、船間島に行く途中の道路に歩道もなく橋も老朽化している。工事に関する計画がたっていると思うので、現在の道路状況の中で工事が始まるのか、県と市が同席して説明をもらえる機会を作ってもらいたい。	建設政策課	九電との協議の中で、どれくらいの交通量でどの道路を通るのか、工事計画の中できちんと話をしながら4者の集まりを行い、十分理解をした上で工事を進めてもらうようお願いをしたい。必ず打ち合わせをする機会は設けるので、ご理解いただきたい。													
H22	その他	港	原子力発電所の立地に伴い漁業関係者は補償の問題等が出てくると思うが、原子力発電所立地地域住民に、税の減税や電気料金の還付などの対策をとってもらいたい。	原子力対策課	法律を含めていろいろな制約があるが、それを踏まえて市民が全般的に地域振興の恩恵を受けられる政策を考えなければならない。議会とも十分な協議を進めていかなければならないと考えているのでご理解いただきたい。													
H22	その他	浜田	平成20年10月に、網津町の十本松ドライブインの橋の国道が冠水するというので、肥薩おれんじ鉄道の下を通る暗渠改良の要望を出した。平成21年の2月過ぎに工事内容の説明があり、肥薩おれんじ鉄道の敷地横を通っている水利が途中で無くなっているということで、そこを併せて工事を行いたい旨の説明があったが、その後工事の進展がない。最近、地権者の同意の関係で工事が遅れているとの説明は受けたが、長い間工事が進展しない理由を教えてください。	耕地課	分水嶺が薩摩病院のグラウンドの付近にあり、網津川の水位が上がれば国道側まで水位が上がってしまうので、問題の箇所から網津川までの水路の高さ・勾配・大きさも併せて調査するように指示を出してある。網津川の水路がどういう状況にあるのか調査し、地元で説明できるように準備をした上で、再度調整をさせていただきたいと考えている。													
H22	その他	草道	水引地区コミュニティセンターができる前は、この土地には草道公民館があった。草道公民館を中心にして地区民が地域活動を行っていた。コミュニティセンターを作る条件として、新たに作った建物は事務所を除いた他は自由に使うこととすることだったが、指定管理者制度が始まるということで、ある日突然何の予告もなく建物の使用条件が反故にされた。指定管理者制度に移行する際に説明があれば、役員会等で協議できたと思っている。何故説明がなかったのか教えてください。	コミュニティ課	指定管理者制度移行に関する十分な説明がなかったことをお詫び申し上げたい。あらためて内容を聞かせていただき、然るべき対応をとらせていただきたい。説明が足らなかったということであれば直接伺ってご理解をいただきたいと考えている。													
H22	その他	港	イノシシ被害対策として、港湾道路から岩下橋間の戸ヤボをボランティアで踏み倒している。現在耕作している田の近隣の地権者は分かっているので自分で相談に回って作業を行っている。しかし里道を挟んだ山手の方は広範囲で地権者が分からないので、役所で地権者を調べて教えてください。	農政課	該当の土地の情報については是非提供させていただきます。後で担当者に地籍図も準備をさせて持って行かせるので場所を教えてください。													○
H22	その他	草道	渡瀬橋から権現橋、草道京泊線へ行く堤防兼市道は、南側の月屋集落の北側の国道3号の手前の堤防が約2m近く低くなっている。豪雨の際にはハザードマップでは湯原集落が孤立するとなっており、浜田集落は危険地域でも避難場所になっているが、そこに行くこともできないので、草道川の整備をお願いしたい。3年ぐらい前に県の土木課に権現橋の浚渫も必ずやるとの回答があったが、未だ実施されていない。通学路で危険なのでパイロンを置いている場所もある。是非堤防を高くして市道の整備をしていただきたい。	耕地課 建設政策課	詳しい事情を把握していないが、用地等の問題があったのではと推測される。確認が取れないので、調べさせていただきます。													